

令和4年度 学校評価 職員アンケート

4：十分達成している 3：おおむね達成している 2：どちらかという達成されていない 1：ほとんど達成されていない

項 目		具体的評価内容		評価
				第1回
				7月
1 学校経営				
1	学校 教育目標	学校教育目標の 具現化	学校教育目標を教職員・生徒・保護者・地域へ浸透を図り、目標達成のため教育活 動を展開する。	3.2
2	学校 経営方針	経営方針の明確 化とその実践	前年度の評価結果を活かし、PDCAシステムによる教育活動を推進する。	3.0
3	学校力をパワー アップ 私立学 校実践支援事業	学校力をパワーアッ プ支援事業への取り 組み	各事業が計画通り実施され、本校の特色ある取り組みとなっている。	3.2
4	学年経営	学年目標の具現化	学年目標を教員・生徒へ浸透を図り、その目標達成のための教育活動を展開する。	3.2
5	学級経営	学級目標の具現化	学校目標や学年目標に沿って、学級の実態に応じた学級目標を設定し、学級経営を 行う。	3.1
2 教育活動 教育活動全般における計画的、組織的な教育的成果の評価				
1	教育課程の 編成	創意工夫を生かした適切な教育 課程の実施	多様な生徒の能力・興味・関心・進路に応じた学科・コースを設定し、特色ある教育 課程を編成する。	3.2
2	教科指導	わかる授業の展 開と工夫・改善	各教科科目の年間指導計画（シラバス）を作成し、学習目的や学習方法を事前に生徒に説明する。	3.2
			基礎・基本を大切にしたいきめ細やかな授業に努める。	3.3
			個々の質問にも丁寧な対応をし、成績不振者には早めに個別指導を行う。	3.3
			各教科における検定等の合格率を上げ、生徒が何らかの資格を取得できるようにする。	3.2
		教材の精選及び 教員の活用	教材研究を徹底し、教科の専門性と指導力の向上を図る。	3.1
		適切な学習評価	年度当初に担当教師間で評価基準を話し合い、共通理解のもとで評価を行う。	3.2
3	総合的な 探究の時間	ねらいが明確で 創意工夫を生かした活動	総合的な学習のねらいが満たされた課題研究に向けての検討・研究を行い、発表会 を通してプレゼンテーション能力を高める。	3.0
4	特別活動	ホームルーム活 動の充実	年間計画に基づいて、事前準備をよく行い、活発なホームルーム活動を実践する。	3.2
		学校行事の充実	体育祭・文化祭等の学校行事に生徒を積極的に参加させる。	3.4
5	生徒指導	基本的な生活習 慣の確立	服装、容儀などについて生徒心得を中心に、生徒・保護者に説明したうえ、全職員 で生徒指導に取り組む。	3.2
			生徒の基本的な生活習慣の確立や規範意識の向上のため、積極的な取り組みや指導 ができています。	3.2
			『佐実三訓』等をとおして徳の教育を推進している。	3.1
6	進路指導	進路指導の充実	進路実現に向け、進路情報の提供、進路ガイダンスの実施、個人面談等を行う。	3.4
			生徒が望ましい勤労観・職業観を持つことができるよう、インターンシップ指導に 努める。	
			進路ガイダンス等で取り組んでいる「キャリア教育」で進路意識の向上が見られ る。	
7	教育相談	教育相談の充実	カウンセリング・マインドを持って生徒に対応するように努める。	3.3
			スクールカウンセラーとの相談活動を通して問題行動の防止や早期解決を図る。	3.3
8	全通併修	全通併修制度の 充実	全通併修教育の充実と生徒一人ひとりへ行き届いた指導を行う。	3.3

令和4年度 学校評価 職員アンケート

4：十分達成している 3：おおむね達成している 2：どちらかという達成されていない 1：ほとんど達成されていない

項 目			具体的評価内容	評価 第1回 7月
9	生徒会活動	生徒会活動の充実	各種委員会に努力目標を設定させ、自主的・自立的な生徒会活動を展開する。	3.2
10	読書教育	読書活動の充実	図書室運営の工夫や『図書だより』の発行等により図書室利用を促進する。	3.2
			朝の10分間読書を実施し、落ち着いた授業への導入としての効果は大きい。	4.7
11	健康・安全教育	健康や安全に対する態度の育成	環境美化・エコ（省エネ）教育の充実を図る。	3.1
			保健管理及び保健教育の充実を図り、生徒の生活習慣の改善を促す。	3.1
			環境整備と安全管理に努め、安心・安全な学校づくりを推進する。	3.2
12	人権・同和教育	人権尊重に対する普遍的価値観の醸成	『いじめゼロ宣言』等の取り組みにより、人権・同和教育を推進する。	3.2
13	部活動	部活動の活性化	部活動指導に熱心に取り組み人間形成に寄与する。	3.1
14	ボランティア活動	ボランティア活動の充実	ボランティア活動により、徳の教育の推進と地域貢献に努める。	2.8
3 学校組織・研修				
1	校務分掌	適切な役割分担、組織的な活動と運営	分掌・学年・学科・教科等の役割を明確にし、各会議を適切に行い、相互連携を図りながら指導にあたる。	3.3
2	各種委員会	目的に応じた適切な委員会の設置とその運用	各種委員会を適切に開催し、学校運営や教育活動等に生かす。	3.3
3	校内研修	研修体制の確立と実践	校内での教員相互の授業公開など研究授業を計画的に行う。	3.3
			初任者研修及びその他職員研修会を実施する。	3.0
4	現職教育	教職員の資質向上への取り組み	私学研修・各教科研修・各分掌研修等の研修会を積極的に活用し、教職員の資質の向上を図る。	3.3
4. 教育環境 学校の置かれている条件や環境に関わる教育的成果の評価				
1	学校環境の整備	潤いのある生活環境の整備	全校生徒、全教職員で積極的に清掃活動に取り組む。	3.0
2	施設・設備の管理	活用と安全管理	必要な施設・設備の整備を行うとともに、有効活用を工夫し、安全点検も定期的に行う。	3.2
3	情報インフラの設備・充実	教育活動全般の情報化	校内ネットワークを効果的に活用してデータの共有化を行い、業務の効率化を図る。	3.1
			ホームページ更新を定期的に行い、学校だより等を充実させ、学校の情報を発信する。	3.2
5. 開かれた学校づくり				
1	保護者との連携	協力体制の確立	個々の生徒について、学校と保護者が緊密に連携を保ち、相互に連絡を取り合う。	3.3
		育友会活動の充実	育友会と連携し、総会・地区懇談会等で活発な意見交換を行う。	3.2
2	地域や関係機関との連携	学校や地域との連携充実	学校行事の地域への開放等、開かれた学校づくりを推進している。	3.1
		学校情報の広報	中学校への訪問や説明会あるいは、ポスター掲示等の広報活動を通して、進路選択への資料を提供する。	3.4
			オープンスクールを開催し、本校教育をより一層理解を促すとともに入学希望者の増加に努める。	3.5